

代表質問

平成21年度予算、定額給付金、妊婦健康診査無料化を現行の5回から14回に拡充、小・中学校校舎耐震補強事業、道路問題を問う！

公明党

鯨井 眞佐子



平成21年度予算について

問 平成21年度一般会計予算案の特徴について伺う。

市長

平成21年度の予算の特徴については、現下の行政環境と本市の厳しい財政状況を踏まえて、平成20年度予算と同様、予算全般について、節減合理化を推進するという基本姿勢に立ち、特に歳入の確保、施策の厳選に努め、各種施策については、費用対効果、緊急度、サービス水準の適正化、財源措置に十分留意し、厳しい財政状況のもと、限られた財源を重点的・効果的に配分する施策精選型の財政運営とし、全体としては昨年度に引き続き、歳入に見合った通年型予算として編成しました。

定額給付金について

問

私も公明党4人で、2月2日、長谷川市長に「定額給付金などの第2次補正予算対応に係る要望書」を提出させていただいたが、定額給付金は本市において、どの程度の規模になるのか伺う。

また、子育て応援特別手当の対象人数及びその予算規模について伺う。

市長

定額給付金は、本市においては、約3万世帯を対象として、約7万7千人に対して11億5千74万円の給付金となります。

妊婦健康診査について

問

妊婦健康診査無料化を現行の5回から14回に望むが如何か。

市長

本市としましては、今までの5回の助成に9回を追加し、平成21年度から合計14回の助成をする予定で準備を進めています。

教育施設について

問

本市の学校耐震化をどのように進めようと考えているのか伺う。

教育長

八街中学校については、平成20年度耐震診断を実施しました。診断の結果、屋内運動場及び校舎の一部において、耐震性が劣っており、耐震補強が必要であることが判明しました。これにより、耐震補強を実施するため、国の第2次補正予算を活用し、3月補正予算において、耐震補強設計委託料を計上しました。平成21年度中に補強設計を実施し、工事については、平成22年度実施を予定しています。

さらに、昭和56年の新耐震設計基準以前の建物についても、耐震診断が必要とされていますので、3月補正予算で小学校7校の耐震診断業務費を計上しました。

市内で冠水箇所は、平成21年度ではどの程度解消するのか伺う。

道路問題について

問

市内で冠水箇所は、平成21年度ではどの程度解消するのか伺う。

市長

昨年8月の集中豪雨による道路冠水の被害は、17カ所で発生し、そのうち3カ所で一時的に通行止めの措置を講じました。

平成20年度は冠水を少しでも解消するため、床下浸水等の被害を受けた一区太陽団地下流の水路及び六区カラオケ屋付近にポンプの設置を行うなど、冠水対策に取り組んでいます。

平成21年度は、旧東京都八街学園周辺の冠水対策として、用地費並びに工事費を当初予算に計上しています。また、吉倉地先の冠水箇所については、周辺の住宅に床下浸水の被害が発生していますので、その改善策として、新たな排水路の整備を実施する予定です。

地域活性化・生活対策臨時交付金について

問

地域活性化・生活対策臨時交付金による事業は、どのような計画か伺う。

市長

本市の場合、1億8千936万2千円が補助金として交付される予定です。実施計画の内容については、集中豪雨緊急対策事業として、道路排水施設整備事業5千万円のうち4千500万円、流末排水施設整備事業1億1千万円のうち9千893万2千円、小学校校舎等耐震診断事業として、7小学校の耐震診断業務に2千163万円、中学校校舎等耐震補強設計事業として、八街中学校耐震補強設計業務に2千380万円をそれぞれ充てる予定です。

関連質問

新宅雅子議員

問

ふるさと雇用再生特別交付金による事業は、どのような計画か伺う。

経済環境部長

県と協議中ですが、新たに新規雇用を7名行い、市の中心市街地である八街駅周辺の空き店舗を活用して、落花生等の八街市の特産を販売するアンテナショップの運営といった新たな事業の展開を考えています。